

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0145/150715/01/01	事業の種類	5
年度	19	事務事業名	高年クラブ活動推進事業補助金	作成日	平成21年1月20日
重要度	4	予算事業名	高齢者生きがい対策事業	担当部課名	健康福祉課
政策名			すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		
施策名		高齢者福祉	実施計画への記載	無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ(29クラブ)			
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ(29クラブ)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいづくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会 … 連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。 単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	助成対象単位クラブ数	クラブ	32	29	29	30
	助成対象クラブ会員数	人	1,855	1,676	1,659	1,700

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.286	0.285	99.7	0.170	59.6	0.170	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,497,144	3,164,064	90.5	2,218,755	70.1	2,161,612	97.4	
	事業費	5,374,130	4,448,681	82.8	4,468,291	100.4	4,419,000	98.9	
	合計	8,871,274	7,612,745	85.8	6,687,046	87.8	6,580,612	98.4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,328,000	2,421,274	72.8	2,387,000	98.6	2,436,000	102.1	
	市債			-		-		-	
	その他		43,769	#####	64,603	147.6	63,000	97.5	
	一般財源	5,543,274	5,147,702	92.9	4,235,443	82.3	4,081,612	96.4	
合計	8,871,274	7,612,745	85.8	6,687,046	87.8	6,580,612	98.4		

4 評価指標

【有効性】

指標名1	助成対象単位クラブ数の増減								
指標説明(式)	助成対象単位クラブ数の増減								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	32	32	100.0	30	93.8	30	100.0	
	実績	32	29	90.6	29	100.0			

指標名2	助成対象クラブ会員数の増減								
指標説明(式)	助成対象クラブ会員数の増減								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1,865	1,802	96.6	1,750	97.1	1,700	97.1	
	実績	1,855	1,676	90.4	1,659	99.0			

【効率性】

指標名1	クラブ会員一人あたりの費用								
指標説明(式)	補助事業費/クラブ会員数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	2,897	2,654	91.6	2,271	85.6	2,188	96.3	

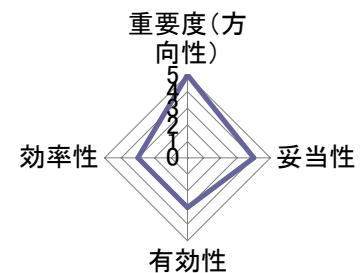
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を推進することは妥当である。	3	4
有効性	成果目標(改善)達成度	会員の増加が困難な状況にあり会員数及びクラブ数は減少傾向にある。	3	3
	市民サービス	高年クラブが補助を受け、神社仏閣の清掃奉仕活動に充てており、間接的には市民の利便性の向上に寄与している。		
効率性	コストの節減	補助基準単価が県の補助基準と同額であり、事業内容を再度検討し委託料を見直す。	3	3
	手段の最適性	若手会員の増加に努める。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	今後退職していく団塊世代の加入を強化し、会員増に努めて行く。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	今後退職していく団塊世代の若手会員の加入促進を強化し、会の活性化を図る。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

高齢者の生きがいをづくりに効果があり、継続実施

検討の有無	-
総合指標	20